



プロバスだより 第343号

2024年6月13日発行

編集・発行：情報委員会

東京八王子プロバスクラブ

創立1995年10月9日

2023～2024年度 テーマ

楽しみながら学び合い、支え合おう

臨時総会

日時 令和6年5月9日(木) 12:00～14:00

場所 八王子エルシィ

出席者 33名

1. 開会 土屋例会委員長

只今より臨時総会を開催します。

2. 会長挨拶 持田会長

本日の議案は第I号議案のみです。よろしくご審議ください。

3. 議長選任

恒例により会長が議長を務め、持田会長が議長席につき、会員総数と出席者数を確認、本総会が有効に成立したことを宣言し、議事に入った。

4. 書記、議事録署名人の選出

書記に大野教子会員、議事録署名人に河西成幸会員、山本通陽会員が選任された。

5. 議事

第I号議案「東京八王子プロバスクラブ

2024年～2025年度役員人事(案)」

理事(敬称略)

池田ときえ 杉山 友一 有泉 裕子

岩島 寛 田中 信昭 内山 雅之

持田 律三 一瀬 明 齊藤万理子

杉田 信夫 塚本 吉紀

会計監査(敬称略)

馬場 征彦 泉 道夫

第I号議案について議長から説明があり、審議の結果賛成多数で可決承認された。

6. 議長解任

第343回例会

1. 開会

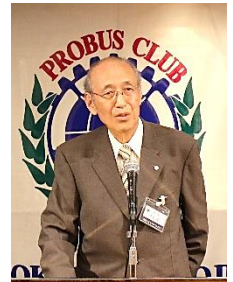
第343回例会を開催します。

本日の出席者数は33名、出席率は73.3%です。

2. 会長挨拶

持田会長

先ほど臨時総会では、来年度の新役員選任が承認されました。重責を担うこととなりますが、来年度の運営を宜しくお願ひしたいと思ひます。



さて、本日は良い報告が一

つあります。それは新入会員の紹介です。田中会員の紹介で松本和也さんが入会されました。おめでとうございます。後ほど詳細の報告があります。

「合唱祭」のことは、今までも何度も報告しておりますが、出演した学校からのアンケート回答がまとまってきております。すべての学校が今回のコンサートには大変満足してくれております。ただ、3月の後半の開催時期についてはいろいろな意見があります。これからも懸案事項はいろいろ生じますが、如何に当クラブの看板イベントにして行けるかが、今後の課題です。

「宇宙の学校」は今年度は110名を予定しており、定員増になります。ボランティアが若干不足気味になりそうです。6月から開講いたします。是非皆さんの協力を頂きたい点であります。

例会費については、例会の都度徴収しましたが、諸般の事情を踏まえ徴収方法を2017年度以前の一括徴収方法に戻したいと考えております。賛同が得られれば7月の総会に会則の改訂案として上程する予定です。

3. 新入会員紹介

松本和也氏が田中会員の推薦により当プロバス

ラブの会員として活動していただけることになりました。

4. ハッピーコイン披露

塚本副会長からハッピーコイン 19 件の披露がありました。(4 ページに掲載)

5. パースデーカード贈呈

5 月生れの橋本会員、永井会員、有泉会員に池田会員手作りのパースデーカードが贈られました。

なお、橋本鋼二会員は卒寿を迎えられました。



写真は永井会員、有泉会員、橋本鋼二会員と会長

6. 卓話

「葉っぱ」について

「葉っぱ」というテーマで何を話すのだろうと思われませんが、私の一寸した経験をお話しします。

「葉っぱ」をテーマにしたきっかけですが、中学時代から山登りが好きで、社会人になってからも続

けており、北は東北から南は九州迄の山々をいくつか登りました。その際に気付いたことは、意外と樹木や草花の名前を知らず、同行者に聞くことがしばしばありました。少しは樹木の名を覚えなければと当時は感じていました。

私が就職した頃は、日本経済は右肩上がりの高度成長の始まりの頃で、時間外勤務も多く登山以外の趣味の世界に浸る余裕などありませんでした。

私は平成 13 年 (2001 年) に現役生活を引退しました。当時、会社をリタイアすると当面何もすることがなく、家でゴロゴロしていると家族に邪魔にされるのではないかと仲間同士では話しあっている時代でし

内山 雅之



た。私はそうならないように心掛けねばと思っていました。

登山の他に、何かに没頭できるものがあればと考えた末に、東京農業大学通信教育講座「樹木ウォッチング講座」があることを知り、早速受講することに決めました。

入学手続きをしているうち、これは大変なことだと気付かされました。学校で習ったことは、とっくの昔に忘れ去っているもので、樹木に関しては一から勉強をやり直さなければならなかったからです。

学習教本をざっと説明しますと「樹木鑑定Ⅰ」、「樹木鑑定Ⅱ」、「樹木 250 検索ガイド～樹木の見分け方～」、



「フィールドノート」の合計 4 冊です。

樹木を鑑定する方法は形質の差を利用した検索表が使われています。殆どの図鑑に載っていますが、その中心となっているのは花と果実に集中しています。しかし、花は咲いている期間が短く、又、果実も同様です。そんな中で「葉っぱ」にも樹木鑑定のための重要な情報があります。

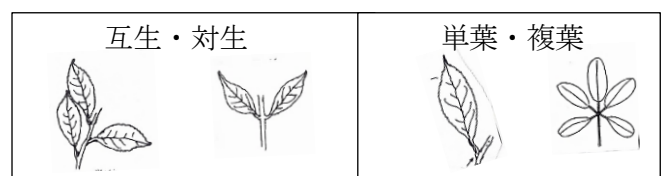
「葉っぱ」の鑑定に当たっては、検索方法がいくつかありますが、どの方法も簡単ではなく、実際に樹木を観察し、スケッチすることが重要になってきます。

スケッチ画を大学側に提出すると、赤ペンで描き足りないところを先生が指摘します。絵を描くことが苦手な私にとっては苦しい宿題でした。

「葉っぱ」による検索は、いくつかありますが、これが一筋縄ではゆかないややこしさがあります。

画面にも出しましたが、「葉による樹木 250 検索フィルター」というものがあり、一覧式検索表は 1 番から 10 番まであり、葉の形態により分類されています。

葉の形態ですが、葉身・葉縁・葉頭・葉脚・葉表・葉裏・葉柄がどうなっているかについて調べることが必要となります。一番基本となるのは、葉が互生か対生か、単葉か複葉か、葉に切れ込みが有るか無いか、などの大雑把な分類です。そして更に細かく葉を観察して樹木名を調べていくのです。



通信教育では、春と夏にスクーリングが有り、50種類の葉っぱを鑑定し樹木名を確定させるテストもありました。教室の机の上に50種類の葉っぱが並んでいるのを見て一瞬驚きを感じました。教授からは「60点以下は落第だよ」と言われました。幸いにも、2回とも50問中37問、35問と正解し、なんとか滑りこみセーフでした。

テストには出ませんでした。葉っぱには似たようなものがあり、間違えやすいです。その一つがヤマグワとカジノキ。二つ比べればその違いは理解できますが、どちらか一方だけを見ただけでは判定しにくいところがあります。



カジノキの葉は夏の「葉蓋点前」に使われます。

最後に、通信教育終了後はどうしたかと言いますと、当時持ち歩き用の辞典は殆ど出版されておらず、大型の図鑑類が中心でした。そこで折角、通信教育を受けたので、その成果を生かそうと考え、画面のような持ち運び出来る冊子を作成しました。作成に当たっては全てを盛り込むのではなく、「葉っぱ」を中心に、季節に応じた、しかも旅行や散歩などに持ち歩けるように、「常緑樹編」、「落葉樹編」、「特殊な葉編」など何冊かに分けて作成しました。

現在でも、旅行するときや散歩するときなど季節に応じた冊子を持ち歩き、樹木の鑑定に使用し、重宝しています。

平成の初め頃は、未だスマホなどはありませんでした。樹木名を想定するには重たい植物図鑑を持ち歩き、それと照合するしか方法はありません。現在ではスマホやパソコンで樹木の判定が出来るなど便利になりました。葉っぱにより樹木名を調べるには、手掛りになるものが必要です。それには重たい図鑑を持ち歩くのではなく、軽い自作の冊子を持っていれば、葉っぱの特徴など、様々なことが学べる便利さがあります。このことは通信教育を受けたことの成果の一つではないかと今でも思っています。

7. 幹事報告

齋藤幹事

内山会員の話で『葉っぱ』の世界をのぞかせて頂き有難うございました。

臨時総会では理事・会計監査のご承認いただき有

難うございました。来期は第29期です。皆様の更なるご協力をお願いいたします。

山口三郎会員が4月末で退会されました。合唱祭でもご活躍なさっていらしたのに、残念ですが、ご病気とのことで仕方ありません。お元気になられるようお願いのみです。

今日からお仲間に松本和也さんが入られました。プロバスの足りない部分を充分補ってくださるよう期待しております。宜しくをお願いいたします。

年度末に必要な事業報告用として、各委員会の年度報告、同好会の活動報告を6月5日までに持田会長か齊藤までメールでお送りくださいますようお願いいたします。

28期も本日と6月例会のみとなりました。見えてきた課題の中で、皆様のご理解を頂かねば進められないこともあります。例会時の徴収金額(1,000円)について持田会長より説明がありましたが、7月の総会には規約改正の形でご審議頂く事になります。よろしくをお願いいたします。幹事報告は以上です。

8. 各委員会からの報告

交流担当

5月18日に東京多摩プロバスクラブの20周年記念行事が開催されます。友好クラブのお祝いに当クラブから三役と全日本として3名計6名が出席予定です。

今年の五所川原での全日本の総会・大会へ東京八王子、東京日野、北九州の3プロバスクラブが同道して24名で参加します。全体で120名と聞いています。

9. 全日本プロバス協議会

一瀬幹事長

全国のクラブ訪問で4月18日にびわ湖大津プロバスクラブ、5月8日にプロバスクラブ松任にお邪魔してきました。5月18日には東京多摩プロバスクラブ20周年に参加しますので全国14クラブを訪問したことになります。びわ湖大津は若い伸び盛りのクラブ、松任は20周年記念の祝賀会も行われました。それぞれ出席率も高く、和やかかつ活気ある雰囲気など学ぶべき点も多いと感じました。4月25日付で協議会「ニュース」第11号を手作りで発行、80部郵送いたしました。これが八王子担当としての最終号になると思います。

10. 閉 会

塚本副会長

本日の臨時総会、例会は会員 33 名の出席にて開催されました。臨時総会では次年度の役員が承認されました。例会では会長より今年度のプロバスの活動の成果に触れ、合唱祭での反響があったことを、また本日は新入会員を迎えることができ喜びたいとの挨拶がありました。ハッピーコインでは個々の喜び、祝いの声が沢山あり、皆さんで拍手、またシニア・ダンディーズの 15 周年の発表会へのお祝いの声が沢山ありハッピーでした。卓話では内山雅之会員が「葉っぱについて」と題し、葉による樹木鑑定が、葉のつき方で例えば輪生、互生等で樹木の種類の見分け方が出来る等々の学問的なお話でありました。

各委員会からは今後の予定が報告され、協力への呼びかけがありました。長時間になりましたが以上で本日の例会を終了します。



◆本日入会の松本和也氏を歓迎して、ハッピー、末永くよろしく！！ 杉山 友一

◆風薫る 5 月、62 回目の結婚記念日が無事通過、三年先のスターサファイア (65 周年) は有りや無しや？ 杉山 友一

◆全日本プロバスの会計は残すことあと一つ。全クラブから集金することです。健康を取り戻し、お役が一つでも出来たことを感謝します。 飯田富美子

◆今日も出てきました。出席率に貢献できました。 永井 昌平

◆散歩道が美しくなってきました。楽しく歩いています。 永井 昌平

◆明日で 90 歳、残された時間を大事に、楽しく生きたいと願っています。 橋本 鋼二

◆いつもカードを有り難うございます。明日で 83 歳になります。6 月には、ひいおばあちゃんになります。今の状態でもう少し、頑張って過して行ければ良いなあと思っています。 有泉 裕子

◆先程の臨時総会で来年度の新役員が決まり新体制が整いました。留任して頂く方も多くいらっしゃると思いますが、新役員のご活躍を祈念して、Happy 持田 律三

◆本日は新入会員松本和也さんが入会されました。お

めでとうございます。心から歓迎致します。是非早く親しんで頂き、積極的にご活躍されることを祈ります。松本さんの門出に Happy ! 持田 律三

◆素晴らしい新入会員をご紹介します。私の家の並びにお住まいで大変な活動家です。早速シニア・ダンディーズや会報の編集を初め、大いなる活躍を期待しつつ。 田中 信昭

◆4 月 20 日シニア・ダンディーズ 15 周年記念祝賀会を盛会裡に行うことが出来ました。応援有り難うございました。20 周年は平均年齢が満 90 歳となりますが精進して頑張ります。その時私は 94 歳です。

岩島 寛

◆80 歳になりスポーツカー卒業、SUV に変えました。乗り降りが楽になりました。 野口 浩平

◆八王子学園八王子高等学校男子バスケット部が春季大会にて東京で優勝し、6 月の関東大会に出場します。女子はベスト 16 でした。準々決勝でこの大会 2 位の学校にワンゴールで負けました。また、柔道部も都代表で関東大会に出場します。 塚本 吉紀

◆東京多摩プロバスクラブの 20 周年記念行事が 5 月 18 日に開催され、当クラブと全日本を合せて 6 名が参加します。近隣友好クラブに心からのエールを！ 一瀬 明

◆4 月～5 月で、びわ湖大津プロバスクラブ、プロバスクラブ松任を訪問してきました。これで 13 クラブ目になります。全国にはいろんなクラブがあって勉強になります。 一瀬 明

◆先日リラの大木を見て感動しました。家の狭い庭には小さいリラの木はあるのですが、一句。「そのことは今は忘れてリラの花」 飯田富美子

◆4 月 20 日開催のシニア・ダンディーズ・コンサートでは、久しぶりに観客の前で歌うことが出来ました。ハッピー。 馬場 征彦

◆創立 15 周年の演奏会を 4 月 20 日エルシィ杉の間で開催しました。近隣の 2 クラブの会長はじめ多勢の会員が、交流のある他団体の皆様も会場あふれるばかり参加、応援して下さいました。お越し頂いた皆様に親しんで頂きました。今秋も 3 ステージの出演予定が決っています。全員元気に歌います。

シニア・ダンディーズ

◆宇宙の学校の募集を始めました。順調です。今年もよろしく。 下山 邦夫

写真の日の逸話

永井 昌平

写真の発明は 1824 年フランスの J.N. ニエプスによるもので、アスファルトを感光材として露光に数時間かかった。ニエプスの共同研究者 L. J. M. ダゲールは 1837 年に露光時間を短縮したダゲレオタイプ（銀板写真）を発明した。ダゲレオタイプは銀板に沃素蒸気を当てて感光性を持たせ、撮影後に水銀蒸気で現像し、ハイポで定着する方法で露光時間は 5 分以上かかったようである。フランス政府はダゲレオタイプを買い上げ、1839 年 8 月 19 日に無償で公開した。同時に、ダゲレオタイプ写真装置一式（図 1）と、写真法を記した「ダゲレオ教本」を発売した。これをきっかけに写真は急速な発展を遂げることとなり、8 月 19 日が“World Photography Day”という記念日になったようである。



日本の「写真の日」は 6 月 1 日である。日本人が日本人を被写体にして、初めて写真撮影に成功したのが天保 12 年（1841）6 月 1 日であるとして、昭和 26 年に制定さ



図 1 ダゲレオタイプ

れた。その根拠となる資料の一つは、明治 35 年（1902）長崎の地方紙「東洋日の出新聞」に掲載された上野彦馬の口述記事である。上野彦馬は、写真を初めて輸入した上野俊之丞（長崎商人）の息子で、幕末から明治にかけての写真家である。その口述記事によると「天保 12 年、長崎の上野俊之丞がオランダ船より輸入したダゲレオタイプ（銀板写真）を島津斉彬公に献上した」とある。また、もう一つの資料「寺島宗則自伝」（明治 40 年）によると「薩摩藩士だったころ、天保 12 年に上野俊之丞と共に鹿児島へ同行し、6 月 1 日に藩主に謁見した」と記してある。これら二つの資料を基に「写真の日・6 月 1 日」が制定された。しかし、天保 12 年にはオランダ船の入港がなかったこと、さらに島津斉彬は江戸に居た等の調査結果から、「写真の日・6 月 1 日」は誤りであることが分かった。

写真（ダゲレオタイプ）が初めて輸入されたのは嘉永元年（1848 年）で、上野俊之丞書留にそのことが記されている。このダゲレオタイプ一式を入手したのは薩摩藩である。薩摩藩士市来四郎著「斉彬公御言行録」（明治 17 年）によれば、写真撮影に成功したのは安政 4 年（1857）9 月 17 日であり、市来四郎等が島津斉彬を撮影したとある。昭和 50 年には島津家から大きさ 8×11cm の斉彬公の銀板写真が見つかっている（図 2）。この写真は日本人が撮影した現存する唯一の銀板写真である。以上のことから、日本人が日本人を被写体として、初めて写真撮影に成功したのは安政 4 年 9 月 17 日が定説となったが、「写真の日」は現在でも 6 月 1 日のままである。口述、伝承、伝記、自叙伝の類は誤りも多く、誇張されたり、美化されたりしているので注意して読む必要がある。



図 2 島津斉彬

薩摩藩以外でも多くの藩で銀板写真の研究がなされ、いくつかの成功例が伝承されているが真偽のほどはわからない。銀板写真は、嘉永から安政にかけての 10 年ほどで、大きな研究成果もなく消えていく。ただ、次世代の湿板写真を普及させた人達が銀板写真にかかわっていたという点では、銀板写真の研究も意義あるものであった。

追記：この原稿を書いていた時、テレビから「今日は 3 月 19 日カメラ発明記念日です」というアナウンスが聞こえた。びっくりしてネットで調べたら、多くの書き込みがありました。ダゲレオタイプが発明された日と書いてありました。まったくの嘘ですのでご注意ください。

ついでにもう一つ。田中信昭会員が幹事だった時、幹事報告の最後に「今日は何の日」という興味ある話をされていました。プロバスだより第 237 号～第 248 号を参照してください。

活動報告

アフタヌーンティーコンサートを終えて

(シニア・ダンディーズ創立 15 周年記念)

立川 富美代

シニア・ダンディーズの活動が15周年を迎え、メンバーの平均年齢が85才を過ぎました。一区切りするにはこの機会しかない、記念の演奏会を企画しました。4月20日に無事終えての報告です。

お客様をお招きするには、高齢者の男声合唱だけでは、お客様に対するインパクトが足りません。声を掛けるお客様は殆どが中高年の女性ばかりです。その方々が満足して頂けるプログラムは何だろうと考えました。

シニア・ダンディーズの合唱を中心にして、その他に楽しんで頂けるのはやはり食事と目を楽しませる事だと考えました。最近巷で流行っている「アフタヌーンティー」をキャッチーに使い、おやつ的に食べて頂こう、目を楽しませる「フラダンス」を、プロの独唱で美しい声を、そしてプロバス学習サロンで良く使った映画の一部分でミュージカルの「サウンドオブミュージック」中の3曲を上映し、見て、聴いて頂きました。

最後の大合唱は、客席も舞台も一つになって歌いました。花束が飛び交いまるでスターのコンサートみたいだねと全員が笑顔で終わりました。

最初はアットホームな会をと考えておりましたが、お申込みの中に地元名士が多いのに気が付きました。八王子市元市長黒須隆一様、市議会議員立川寛之様、八王子南ロータリークラブ酢屋義元様、東京多摩プロバスクラブ小林会長様、東京日野プロバスクラブ黒沢会長代理後藤一郎様の他、両クラブから多数のご参加を頂き、Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会代表塚本回子様、総計80名ものお客様をお迎えしたのでした。

メンバーの12名のうち本番直前に2名が体調不良で出演不可となり、残念ながら10名での演奏。欠席の2名の分まで頑張りました。全20曲元気に歌いました。人生100年時代です。あと少し元気に歌い続け、少しでも地域社会に奉仕活動が出来ます様願っております。演奏会を裏側から支えて下さいましたサポーターズやクラブメンバーに感謝を申し上げます。



私の一句（五月の句会から）

河合 和郎

緑のまぶしい五月の到来である。メンバーの作品にも緑・若葉・新茶・新緑そして筍など、季節を代表する季語が並んでいる。五月は何をおいても眩しく晴れ晴れとした好季節なのである。

そのことは今日は忘れてリラの花 飯田富美子

作者の心境の変化か作風に新境地が見える。「今日は忘れて」の措辞に様々な思いのこもり余韻の残る佳句となった。

山歩き楽しむシニア若葉風 馬場 征彦

元気元気なシニア世代を代表するような一句。若葉風の季語も効果的。そう言えば作者も元気な超シニア世代の一人。

そうは言へ長生き期待して新茶 田中 信昭

本音はみんな同じということ。年寄りの「もう死にたい」というセリフを真に受けてはいけない。新茶の香りに思いを込めて先ずは一服。

新緑や生きて在る日のまぶしくて 池田ときえ

新緑に身を任せる「命ある日々」。生きていることのすばらしさを「眩しい」と表現。命の讃歌として眩しい一句となった。

絢爛と真打ち登場八重桜 下山 邦夫

桜の季節の最後を飾る八重桜。「絢爛」という大きな表現が花の美しさをより強調して効果的。芝居がかった表現もまた面白い。

誰からか玄関前に筍が 野口 浩平

本当のお付き合いとはこの句のようにさり気ない日常の中にあるのでは。破調の下五の収め方もいい。黙って置いてゆくところがまたいい。

躍動の手応え確と鮎の竿 河合 和郎

命の躍動が伝わってくるのが釣りの醍醐味でもある。これからは鮎のシーズン。塩焼きもいいが、炊き込みの鮎飯も美味この上ない。

編集後記

永井会員より貴重な寄稿文をいただき感謝しております。今月号は6頁となりました。

情報 内山

